

信州大学医学部附属病院 小児科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2020年5月21日

「小児期発症消化管疾患に関する後方視的臨床研究に関する臨床研究を実施しています。」

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。
この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	4731
研究課題名	小児期発症消化管疾患に関する後方視的臨床研究(2017-2019年度)
所属(診療科等)	小児科
研究責任者(職名)	中山佳子(准教授)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2025年5月21日
研究の意義、目的	小児期発症の消化管疾患について、疫学、病態、治療による疾患管理(治療の効果)、予後などを明らかにし、適切な診断と治療法の確立に貢献します。
対象となる患者さん	2018年1月1日～2020年3月31日の期間に当院で炎症性腸疾患(潰瘍性大腸炎、クローン病、腸管ベーチェット病、分類不能型炎症性腸疾患)、好酸球性消化管疾患(好酸球性胃腸炎、好酸球性食道炎、乳児新生児食物蛋白誘発性胃腸症、消化管アレルギー)、逆流性食道炎、バレット食道、ヘリコバクター・ピロリ菌感染症、胃・十二指腸潰瘍、消化管ポリポーシス、消化管ポリープ(若年性ポリープなど)、消化管移植片対宿主病、消化管狭窄、消化管異物、過敏性腸症候群、機能性ジスペプシア、機能性腹痛、便秘症などの消化管疾患と診断され治療された患者さん。
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、症状、身体所見、検査結果、治療後の経過など
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、疾患ごとに病気の頻度、特徴、治療への反応性、合併症などを検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 中山佳子(小児科・准教授) 電話: 0263-37-2642(小児科医局)

既存の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報がでることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。